

安芸高田市酪農連絡協議会

七月十六日 高宮ミルクボーイ

総会「玉浦^{うた}転氏を 新会長に選任」

安芸高田市酪農連絡協議会(会長 寺尾太志)は総会を開催し、会員及び指導機関から十七名の出席があった。

総会に上程した決算報告と事業予算(案)は承認され、役員改選では、玉浦氏・西川氏・佐々田氏・小丸氏、茅野氏の五名を選任。その後の役員会で会長に玉浦転氏を互選した。



宮本和行リーダー(広島県西部畜産事務所 所振興グループ)から、第十一回全国和牛能力共進会に向けた出品牛確保のためのET移植への協力を求められた。

東城酪農振興会

七月二十二日 東城温泉

四戸で生乳生産日量 十トン超の安定生産を目指す



東城酪農振興会(会長 和田慎吾)は総会を開催し、「平成二十五年度の事業報告・収支決算」並びに「平成二十六年度事業計画・収支予算」を審議し、原案どおり承認した。広酪からは鈴木道弘専務と櫻木茂夫課長補佐(事業推進課)が出席した。

総会後は、会員家族や従業員が参加して総勢十八名による懇親会が行われ、和田会長は「梅雨明け時期にも関わらず多数の参加に感謝します。酪農業界は厳しい状況が続いていますが、東城は前年実績を超えた生産が出来ます。日量十トンを超える安定的な生乳生産が実現出来る地域でありますので、皆さん頑張ってください」と挨拶された。

口和町酪農組合

七月二十四日 鮎の里

岩竹組合長 「生乳生産増」を呼びかけ

口和町酪農組合(組合長 田辺輝之)は平成二十六年度総会を開催し、庄原市役所口和支所と広酪を来賓に迎え、組合員五名が出席した。

岩竹重城組合長(広酪)は挨拶で乳価情勢等に触れ、「生乳をしっかりと搾っていこう」と呼びかけた。

続いて、西中晃参事(広酪)が平成二十六年度の乳価交渉方針について説明し、「全生乳換算で五円/kgの値上げを要求し、要求乳価内には高騰する燃料高に対する三十銭/kgが加味されていることが今回の特徴である」と伝えた。

口和支所からは、今年度は口和町堆肥センターの機器更新や修理を全額補助事業で行い、更に庄原市の事業紹介が行われた。

上程議案の「平成二十五年度事業報告・収支決算」、及び「平成二十六年度事業計画・収支予算案」は全て承認され、総会終了後は懇親談義を交わし、相互の交流を深めた。



甲奴郡酪農組合

八月二十三日 池田牧場

シヨージ消費者と交流 白いラップの中身は何？ 池田牧場で酪農への理解を深める

参加者
110名

甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長)は、西條商事(株)の企画する「シヨージ広島県産おいしい牛乳七周年記念キャンペーン」に併せて消費者らを招き、「池

田牧場ウイング・ドーム」にて交流会を開催した。

八月に入りほぼ毎日の降雨で、当日の開催に心配を寄せていたが、当日は天候に恵まれ、消費者、酪農家、山陽乳業(株)の関係者を併せて百十名の参加があった。

歓迎挨拶で、伊達組合長は「先日、広島市内で発生した豪雨・土砂災害で多くの被害が生じている中、このイベントの開催に心苦しさもある。生産者と消費者の交流は、食の安全・安心を知ってもらうのに大変良い機会です。この機会を有意義なものにして頂きたいので、日頃の色々な疑問点があれば是非聞いて下さい」と述べられた。

続いて、道田稔弘副会長の乾杯の発声で「バーベキュー」に入り、地元酪農家の作ったお米を

使ったおにぎりや、丹精込めて育てた野菜が振る舞われた。

酪農家のお母様方の準備の甲斐もあって、消費者はとても美味いとお満足の様子で、その野菜が当たる「ビンゴゲーム」では大変盛り上がり、バザーでも競うように買い求められるほど好評であった。

昼食後、小川香奈さんが池田牧場の経営概況を紹介し、消費者は各班に分かれて、エサやり体験や仔牛の観察を行った。

子供達から「牛は模様によって違いはあるの?」「どのくらい牛は餌を食べるの?」「白いラップの中身は何?」「牛の一生はどのようなようになっていくの?」等々の質問に酪農家は丁寧に応じられていた。

閉会后、消費者から「有難うございました。また会えたら良いですね」と言葉が寄せられ、再開を楽しみにバスを見送り、全日程を無事終えた。

酪農家、関係者の皆さん、お疲れ様でした。

あきたかた酪農振興会

八月二十七日 高宮ミルクボーイ

納涼会で日頃の疲れを癒す

あきたかた酪農振興会(会長 玉浦転(うたた))は、毎年恒例の「納涼会」を開催し、県議、市議、組合員の家族等二十名が出席した。

納涼会にあたり、玉浦会長から「何もわからない中、会長になりましたが宜しくお願いします。今日は日頃の疲れを癒しましょう」と挨拶の後、河井克行衆議院議員からの祝電披露、児玉浩県議会議員からの挨拶に続き、岩竹重城代表理事組合長(広酪)からは「組合員の方にはしっかりと搾って頂きたい。今年度の乳価交渉は十月頃を目処にしっかりと交渉を行っていききたい」と挨拶があった。

その後、市川貴英所長(全酪連三次駐在員事務所)の乾杯発声と伴に納涼会が始まり、酪農情報の共有と意見交換を夜が更けるまで行った。



三原市酪農振興会

八月二十九日 三原市

三原市へ酪農窮状支援要望

三原市酪農振興会(会長 新舎和久)は、新舎会長、榎元昌富役員が三原市の天満祥典市長と分野達見市議会議長を表敬訪問し、これまでの交付助成に対しての御礼と酪農業の安定的な経営継続を図るための支援要望書を提出した。

新舎会長は、酪農情勢を交え「酪農は基盤が強い足腰の強い経営があつてこそ、変化に対応できるもの。そのため三原市酪農振興会は「生産基盤強化」と「良質生乳生産」を目標に事業推進に取り組んでいる。引き続き「振興活動促進助成」及び「農業振興団体助成事業」、「ヘルパー利用助成」、「防疫対策(三種混合ワクチン接種・畜舎消毒)」、「地産地消(県内産牛乳の使用を通じての食育支援)」、「耕畜連携による体制確立の措置(飼料イネの生産及び利用促進)」、「酪農担い手不足に伴う新規就農者支援の助成措置」等の支援をお願いしたい」と要望した。



天満市長に支援要望する新舎会長(写真左)

天満市長は、酪農のみならず、農畜産業を取り巻く国内外の情勢に関心を示され、要望書の項目を細かく市担当職員に伝え、今議会に諮ることを約束された。

分野議長は、食育、学校給食等の話にも触れられ、酪農家に対する支援と牛乳普及活動に対する期待を感じた。

庄原市酪農連絡協議会・庄原地域酪農振興会

八月二十日、二十八日

「庄原市酪農連絡協議会」

●新会長に和田慎吾氏

「庄原地域酪農振興会」

●新会長に赤木靖氏選任

庄原市酪農連絡協議会・庄原地域酪農振興会は、林智行会長からの両団体の退任申し出を受けて、庄原市酪農連絡協議会(庄原市)は八月二十八日付で会長に和田慎吾氏、庄原地域酪農振興会(旧庄原市)は八月二十日付で会長に赤木靖氏を選任した。

三次市酪農振興会

八月二十七日 三次市・職業訓練センター

共進会出品者の助成増額を決定

三次市酪農振興会(会長 橋本洋資)は第二回役員会を開催し、会長挨拶の後、第十回三次市ホルスタイン共進会の開催内容及び第九回広島県畜産共進会の出品助成について協議した。

現在、三次市管内においては共進会の出品者と出品頭数が減少傾向であるが、乳牛の改良と管理技術向上のため出品される方に対しての助成額を増額することとした。その他、昨年に引き続き研修会を開催し、経営向上の一助とすることを決定した。